

7月31日・水曜日 2019年（令和元年）

車止め板の効果は実験
で確認された



車止め板リース トライ・ユーなど

トライ・ユー（札幌市東区、上杉章社長、011・751・7601）と白石ゴム製作所（同白石区、小林綾子社長、011・872・3771）は、車の誤操作に伴う急発進の事故を防ぐ車止め板を開発し、リースを始めた。車の衝突時に車止め板が後方に傾斜し、前方のタイヤを空転させ、前に進まないようにする。小売店の駐車場などでの利用を見込む。

車止め板は高さ110センチ×幅60センチ×厚さ6.2センチ。重さ約39キロ。地面に穴を開け、板から出ている足を差し込むだけで設置できる。車が衝突すると、後方に倒れた板を補助具が支えて傾斜をつくり、車が乗り越えられないようにする。リース料は6年の場合、消費税別で月額9600円。

中型車や軽自動車を用い、停止状態からアクセル全開で急発進しても、車がそれ以上進まないことを実験で確認した。（札幌）